

15. MWM7124 型濃度計による食品プロセスにおける、液種判別

はじめに

MWM7124 型濃度計 は現場に行く事なくパイプラインの液種がわかります。

原理と特徴

1. プローブは感知部がパイプの中央まで突き出していて、パイプ中央部の濃度を測定できます。
2. プローブ先端の温度素子により導電率の変化を早く、広範囲で自動修正出来ます。
3. プローブはサニタリ構造です。
4. 高安定発信回路内蔵の為、高精度に測定可能です。
5. レンジ変更 OK でデジタル表示の為、精度も良く読み取りやすいです。
6. 4点警報接点出力内蔵の為、予知警報にも使用できます。

使用例

液体飲料の瓶詰工場の液種判別

瓶詰される液体は種類が多く、間違っ瓶詰する可能性もあります。



MWM7124 型濃度計は種別を識別し自動的にパルプ操作を行うことも可能です。



2ヶ所で測定すれば、タンク内の液体が瓶詰器に届いているか、確認してスタートできます。

使用上の留意

温度による導電率の変化や、液体の種類によっては特殊な変化をするものがあります。



液体の種類による導電率の違いの把握が必要です。